



浜田市金城歴史民俗資料館

# 浜田市金城民俗資料館 浜田市金城歴史民俗資料館



浜田市金城民俗資料館

歴史の心をはぐくむたたらと和紙の里

民俗資料回想セラピーの資料館  
認知症の予防・抑制プログラムで支援

浜田市金城町波佐イ 426-1

TEL(0855)44-0146/FAX(0855)44-0143

## 民俗資料館展示品

国指定重要有形民俗文化財

### 波佐の山村生産用具

(758点) 1971.12.15 指定

(指定理由) 旧波佐村は、中国山地の分水嶺に近い高知にあり、殆どが山地で農地は少なく、江戸時代には津和野藩の紙年貢に供するため紙を漉いていました。民具収集は住民の自発的意志によって巨細にわたり取りまとめたもので質量ともによく備わり、この地域の生産生活の特色を示すものとして重要。

- 1. 農具 244点
- 2. 山樵用具 110点
- 3. 紙漉き用具 110点
- 4. 紡織用具 152点
- 5. 運搬具 64点
- 6. 仕事着 78点

島根県指定有形民俗文化財

### 波佐の山村生活用具

(221点) 1972.7.28 指定

(指定理由) 石見部山間部における伝統的食生活を系統的に知ることができる資料です。

- 1. 食品製造貯蔵用具 41点
- 2. 食物調理調製用具 76点
- 3. 飲食用具 104点
- 家具 150点 ●屋根葺き用具 20点
- 装身具 60点 ●紺屋の型紙 500点
- 灯火用具 45点 ●狩猟用具 20点
- 工匠用具 80点 ●その他 1,600点

開館時間 (土・日) 9時～17時  
土・日以外は、事前に電話予約が必要。

## 歴史民俗資料館展示

浜田市指定文化財・歴史資料

### 能海寛関係資料

(357点) 2008.7.23 指定

(指定理由) 能海寛が記述・将来した資料は、宗教、地理、政治、産業など他分野にかかわる貴重な資料で、当時の文化史・交流史の研究に寄与する学術価値が高い。

歴史資料 ●能海寛資料 3,000点 ●たたら製鉄用具 80点 ●鉄穴流し用具 10点 ●鍛冶屋用具 130点 ●島村抱月資料 50点 ●たたら古文書 6,200点 ●地方文書 500点 ●考古資料 3,000点収蔵

## 観覧入館料 (両館共通券)

大人 300円 団体 25名以上 200円  
中・高・大学生 100円 (団体) 60円  
小学生 60円 (団体) 30円  
休館日 (国民の祝日・年末年始)

## ふるさとの偉人・石峰&抱月

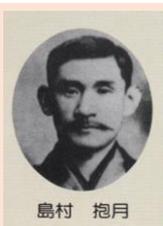


能海 寛

チベット探検の先駆者・宗教哲学者。明治元年5月18日金城町長田浄蓮寺に生れる。哲学館(現在の東洋大学)卒。「チベット語大蔵経」を入手し英訳經典を世に出すため当時鎖国中のチベット領に入国する。著書『世界に於ける佛教徒』。翻訳「般若心経(梵・藏・漢・英対訳)」ほか。



能海寛顕彰碑



島村 抱月

評論家・作家・演出家。明治4年1月10日金城町小国下土居に生れる。早大卒。早大教授。自然主義文学運動・新劇運動に貢献した。文芸協会を経て女優松井須磨子と芸術座を結成。海外を始め日本全国津々浦々をくまなく巡回し欧州近代劇の大衆化に尽力。著書『近代文芸之研究』など多数。



島村抱月生誕地

## 浜田市金城民俗資料館

(昭和48年11月3日開館)

この民俗資料館は西中国山地国定公園大佐山(1,069m)の西北麓に位置し、南北に長い盆地の中央部、金城町波佐イ426-1番地に建設しています。江戸時代は津和野藩に属し、元和3年(1617年)に波佐代官所が置かれ元禄4年(1691年)の改高により波佐組7カ村3,000石となりました。その時代において「米紙上納」という言葉で示されるように、米と楮半紙の上納が定められ、波佐地方の全農家が紙漉きに携わっていました。資料館はこうした時代の背景となった農家の蔵を模して設計しています。ここに展示している有形民俗文化財(民俗資料)は「西中国山地民具を守る会」が収集し、石見地方山間部農村の生産生活の特色を示す資料として体系的にまとめ3,500点を展示しています。 建築面積 197.6㎡ 床面積 272㎡



調理調製用具



夜着

牛馬の荷鞍



囲炉裏の間



紙漉き用具



能海寛歴史資料



二丁鞆たたら



鉄穴・たたら場絵図・たたら大福帳

## 浜田市金城歴史民俗資料館

(昭和53年11月3日開館)

この歴史民俗資料館は、上記民俗資料館の真向かいにある白壁の建物です。波佐地方は西中国山地の良質な真砂鉄と豊富な木炭資源に恵まれていたことから「たたら製鉄法」が古来行われてきました。鉄穴流し場、鑪所、鍛冶屋などの遺跡は50数箇所あります。特に、この資料館は桁下鑪から製品とした「長割鉄」などを問屋へ出荷するまでの間、一時この蔵に集荷していたことから「たたら蔵」と呼ばれていました。約200年前に建てられた、この蔵は所有者佐竹操氏から市が寄贈を受け文化財として永久に保存活用をはかるため「歴史民俗資料館」として改修した展示館です。こうしたことから「二丁鞆鑪」の復元展示、たたら関係用具、たたら古文書、たたら製鉄品などを展示。また、この町に生まれた偉人、チベット巡礼探検家・能海寛、文豪・島村抱月の資料、埋蔵文化財、歴史資料を収蔵・展示しています。 建築面積 68.85㎡ 床面積 137.7㎡



たたら資料